会　報

鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究会
ＵＲＬ　http://ajgika.ne.jp/~kagoshima/

あ　い　さ　つ

鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究会
会　長　黒　丸　米　行

この度，会長の職を引き受けることになりました。

これまでの諸先輩方が築いてこられた鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究会の連綿とした活動の歴史を引き継ぎ、さらに発展させていくために努力していく所存です。どうかよろしくお願いします。

現在の子供達は，必要なものは購入できる社会を生きており，生活するために自分で「つくる」ことの価値を認識しにくくなっています。また，ＩＣＴの発達は、知識や技能の習得や情報を収集し考え判断することなどのサービスを提供するまでになってきています。

このような社会にあって，様々な目の前の想定内・想定外の課題に対して現在あるものを適切に活用して一定の期間で解決できる力は変わらず求められています。

技術・家庭科は「工夫し創造する能力」と「実践的な態度」を目標とする教科であり，新たな解決策を創造できる能力と、実現しようとする態度を育むという点で，いつの時代にも必要とされる重要な役割を担っています。

しかし，現在の技術・家庭科の状況については，皆さんもご存じのとおり授業時数の減少にともない専任の教員も一定の規模(15学級程度)以上でないと配置されにくくなっており他の教科と兼任や免許外の担当が増えているのが現状です。さらに，授業改善のための研究という面からは，校内での取組の難しさはもちろん，市町村単位でも厳しいのがほとんどです。

このような現状を踏まえ当研究会では，県内の技術・家庭科担当の先生方に対して、教科研究の情報を提供していくとともに先生同士のネットワークを構築し，研究大会を中核にロボコン大会や物づくり競技会、アイディアバッグコンクールなどの様々な実践的な研究の場をとおして、力量向上の機会を提供していけるよう努めてまいります。

県下の技術・家庭科担当の皆様にご理解、ご協力くださるようよろしくお願い申し上げます。

第63回鹿児島県中学校技術･家庭科教育研究大会を迎えて

北薩地区

１　はじめに

平成２６年度鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究大会を北薩地区が担当することとなりました。今大会は，以前の川薩地区と出水地区が合併して初めての県大会開催となります。

本地区は，小規模・中規模の学校が多く，期限付教諭，非常勤講師，臨時免許の保有者の割合がかなり高くなっています。このような中で，一昨年度から地区内の先生方が集まり，県大会へ向けて準備を進めているところであります。研究授業においては，技術分野，家庭分野の両方で行い，現在，研究を進めているところであります。大会へ向けて地区会員が一体となってさらに努力していく所存であります。

大会運営につきましては不十分な点も多いかと思いますが，本地区の技術・家庭科教育の発展にお力添えをいただければ幸いです。多数の参加をお待ちいたしますので，どうぞよろしくお願いいたします。

２　研究大会内容について

①日時　平成２６年１１月７日（金）10:00～16：30
②会場　薩摩川内市立川内北中学校
③研究授業
＜技術分野＞　授業者　教諭　森　拓也
　授業内容：「Ｃ　生物育成に関する技術」
＜家庭分野＞　授業者　教諭　岩﨑　孝子
　授業内容：「Ａ　家族・家庭と子どもの成長」
④授業研究
＜技術分野＞
司会　出水市立米ノ津中学校　　教諭　中　亨
記録　薩摩川内市立東郷中学校　教諭　倉元　賢一
＜家庭分野＞
司会　出水市立米ノ津中学校　教諭　肝付　静代
記録　阿久根市立三笠中学校　教諭　西之園　泉
⑤研究発表
発表者：鹿児島大学教育学部附属中学校
　教諭　土屋　雅宏
内容：「よりよく社会を生き抜く生徒を育てる技術・家庭科教育」
発表者：瀬戸内町立古仁屋中学校　教諭　竹下　誠
内容：「よりよく社会を生き抜く生徒を育てる技術・
　家庭科教育～問題解決的な学習の充実を通して～」
発表者：鹿児島市立伊敷中学校　教諭　・松　真由
内容：「生活における課題を解決する能力を育む授業の追究～
　PDCA サイクルを取り入れた指導と評価の工夫～」

研修会だより

＜技術分野・家庭分野合同＞

① 日時　平成２６年７月２８日（月）

② 会場　鹿児島大学教育学部附属中学校

③ 参加人数　２８人

④ 内容

⑴ 講演：『自分の空間やものとどう向き合うか
～イメージすることで
空間と自分は変えられる～』

講師：インテリアコーディネーター
鳥丸尚子先生

⑵ 情報交換・昼食：ジェイドガーデン「翠園」にて

⑶ ワークショップ

技術分野と家庭分野の学びを生かした「授業づくり」

※ 教科での「協働」を目指し，両分野の教員による話し合い。

⑷ 各分野での研究内容の確認

※ 今年度の研究内容・実践説明及び指導案検討

⑤ 参加者の感想

＜技術分野＞

【吉田南中学校　小野原先生】

インテリアは技術の観点からもとても参考になった。個人的にも技術準備室をより機能的に活用することはとても大切だと感じているのでさらに片付けたい。

【出水中学校　鷲見先生】

新しいスタイルの研修で，家庭科の先生方と話ができてとてもよかったです。年に１回はこういう研修もほしいと思いました。

＜家庭分野＞

【宮之城中学校　沖渊先生】

今まで，技術と共に授業をつくることを考えたことはなかったが，今日の研修を通して，今後は技術と連携した授業展開にしたいと思いました。また，鳥丸先生の講義では，自分自身の生活や人生をふりかえり，刺激を与えていただいたので，先生のお話を思い出しながら，生徒へ家庭科や道徳などで語るときに還元していきたいと思います。

【鴨池中学校　三反田先生】

午前中は，自分自身のものとの向き合い方について考えさせられ，これからどのように空間と自分を変えていくか具体的な行動をイメージできた。仕事も家庭も自分自身が豊かになれそうです。技術と家庭が一緒に行う研修スタイルは「技術・家庭科」という教科の未来（近い）の形だと思います。評価も共につけなければならないので，これから，どんどん必要になると思います。いろいろなアイディアが出て良かったです。

総　務　部

昨年度は，第６２回県研究大会（大島地区大会）並びに県作品展が，１１月８日に奄美市立朝日中学校を会場として行われ，県内の会員の方々，約８０名に参加していただきました。大島地区の先生方には何度も会をもっていただき，内容の濃い研究授業・研究発表・研究協議が展開されたことに，深く感謝申し上げます。

また，第１３回ロボコン県大会（武中），第７回アイデアバッグ県大会，第７回ものづくり競技大会（かごしま文化工芸村）に多くの参加をいただき，盛会のうちに終了することができました。

本年度は，第６３回県研究大会（北薩地区大会）が，１１月７日に薩摩川内市立川内北中学校で開催されます。昨年同様，県内の先生方のご支援，ご指導をよろしくお願いいたします。

お知らせ

１　県版学習ノートの採用につきましてはご協力をいただきありがとうございました。

２　研究誌「 技術・家庭 」を毎年発行し，本年が第６２号になります。この研究誌は，本県技術・家庭科の先生方の研究を掲載しております。先生方の研究（研究論文）あるいはグループ研究等ございましたら是非掲載にご協力ください。

３　第２８回　鹿児島県中学校技術・家庭科作品展を１１月７日（金）薩摩川内市立川内北中学校にて開催します。授業や長期休業中の生徒・教師作品を多数出品されますようよろしくお願いします。

４　第８回県中学生ものづくり競技大会を１０月１１日（土）かごしま文化工芸村で，また，第８回被服部門アイデアバックコンクール県大会を１０月２５日（土）武中学校で開催します。１月に開催される全国中学生創造ものづくり教育フェアの予選大会ですので，多数の参加をお願いします。なお，第１５回中学生ものづくり競技大会九州地区大会を１１月１５日（土）かごしま文化工芸村で開催します。

５　第１４回創造アイデアロボットコンテスト鹿児島県中学生大会が１０月２５日（土）武中学校（体育館）にて実施されます。本大会を盛り上げるためにも多数の参加をお願いします。

６　技能検定を実施しています。詳しくはＷｅｂページをご覧下さい。

＜問い合わせ・連絡先＞
〒８９０－００６７　鹿児島市真砂本町５８番５８号
鹿児島市立鴨池中学校　白土師　直弘
TEL　（０９９）２５３－９６００
FAX　（０９９）２５３－９６０４
Email　kamoshira@yahoo.co.jp